

2. 自動車の保有台数と利用実態の把握 南伊勢町の1世帯当たりの普及台数は日本全体で見ると0.57台多く、三重県で見ると0.197台少ないことが分かる(図表II-3)。自動車に乗る頻度としてはほぼ毎日乗っている人であっても免許返納を考えている人が19.5%であった。高齢者の踏み間違え等の事故が増加しているためであると予想される。乗る頻度を神津佐区出身とセンター・コア注4)で比べるとほぼ毎日乗っている人は神津佐出身の方が80%多い。都心部と比べると公共交通機関が整っていないからである(図表II-4,5)。

III. 自動車を無くした生活

1. 自動車を無くした生活への住民意識の把握 4つの対象で考えられない、生活できない等と否定的に考えている人が職場と自宅が職住接近で住まれている方、住んでいない方共に100%であった。南伊勢町付近は山に囲まれているので南伊勢町外の方も自動車を無くすと生活できないと回答したと予想される(図表III-1)。

2. 自動車を無くした生活の仮説 自動車を無くしたときに実現できる仮説として、生活圏が自転車で行ける範囲にあること、公共交通機関が整っていることの2つは生活できると答えた。自家用車を持たない際に実現できる生活としてカーシェアリングやレンタカーを利用することは生活できないと答えた。すぐに借りられる環境が整っていないからである(図表III-2)。

IV. 総括と今後の課題

都市部と比べると公共交通機関が整っていないことから、強みである自然が豊かであることも考慮して公共交通機関を整わせることが必要である。また、生活必需品を買いに行く場所がない、南伊勢町外から町内にある職場に通うための移動手段として自動車はなくてはならないものとなっていることから、生活圏へのアクセスしやすい方法を計画する必要がある。

終わりに、少しでも自家用車に乗る頻度を減らせる環境として生活圏が自転車で行ける範囲にあり、バイクレーンが整っていれば生活できると考える。技術の発達により自動車に変わる環境へ配慮された乗り物がこれから開発されていく。本研究で得られた成果は、自動車に変わる乗り物を考えていく際に有益な基礎的資料となることを期待する。

注釈

注1)人口10万人ないし30万人以下の自治体、人口転出超過になっている都道府県(東京圏の4県・愛知・大阪・福岡・滋賀以外)を指す。注2)人々がよく集まり住んで、商工業や文化の発達した土地を指す。注3)自動車は自家用車を指す。
参考文献(インターネットサイトは2022/1/20に13:00に最終閲覧)
1)株式会社十六総合研究所 第1章地方とは何か?地方創生とは何か? http://www.16souken.co.jp/report/juroku_report20200124_04.pdf
2)広辞苑 都会 https://sakura-paris.org/dict/%E5%A4%A7%E8%BE%9E%E6%9E%97/content/150549_1846
3)広辞苑 自動車 https://sakura-paris.org/dict/%E6%98%8E%E9%8F%A1%E5%9B%BD%E8%AA%9E%E8%BE%9E%E5%85%B8/content/2675_1300#:~:ext=%E3%81%98%E3%81%A9%E3%81%86%E2%80%90%E3%81%97%E3%82%83%E3%80%90%E8%87%AA%E5%8B%95%E8%BB%8A%E3%80%91%20%E3%80%98%E5%90%8D%E3%80%99%20%E3%82%A8%E3%83%B3%E3%82%B8%E3%83%B3%E3%81%AE,%E3%81%A7%E3%81%AE%E3%80%90%E8%87%AA%E5%8B%95%E8%BB%8A%E3%80%91%E5%8D%98%E8%AA%9E%E3%80%82

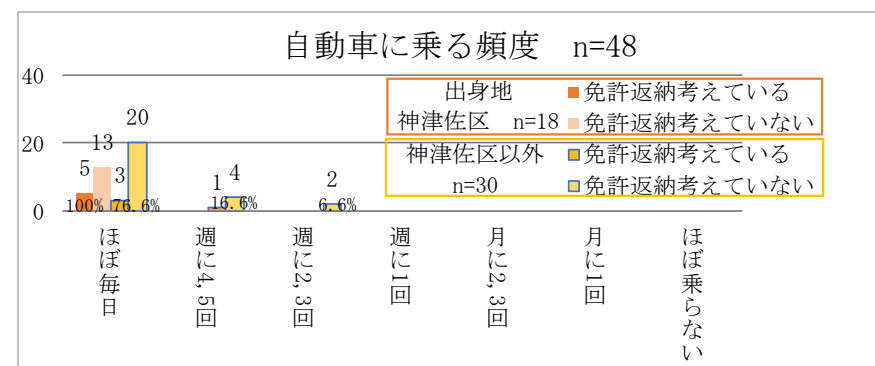
	A南伊勢町役場対象のアンケート					
	居住地		勤務地		合計	
南伊勢町	○		○		○	
南伊勢町外	○		○		○	
	合計	回答者割合(n=11)	回答者割合(n=18)	合計	回答者割合(n=8)	回答者割合(n=10)
1. 賃貸住宅がない(住宅、不動産)	1	9.1%	5.6%	1	12.5%	10.0%
2. 就職先がない	3	27.3%	16.7%	0	0.0%	0.0%
3. 少子高齢化	3	27.3%	16.7%	1	12.5%	10.0%
4. 若者定住	1	9.1%	5.6%	1	12.5%	10.0%
5. 教育施設	1	9.1%	5.6%	0	0.0%	0.0%
6. 買い物する場所	2	18.2%	11.1%	2	25.0%	20.0%
7. 病院	2	18.2%	11.1%	0	0.0%	0.0%
8. 交通手段	1	9.1%	5.6%	1	12.5%	10.0%
9. 公共交通機関の本数	1	9.1%	5.6%	0	0.0%	0.0%
10. カフェ、商業施設、公園	0	0.0%	0.0%	1	12.5%	10.0%
11. 観光地	0	0.0%	0.0%	1	12.5%	10.0%
12. その他	3	27.3%	16.7%	2	25.0%	20.0%
合計	18	163.6%	100.0%	10	125.0%	100.0%

図表II-2 居住地別 南伊勢町の課題

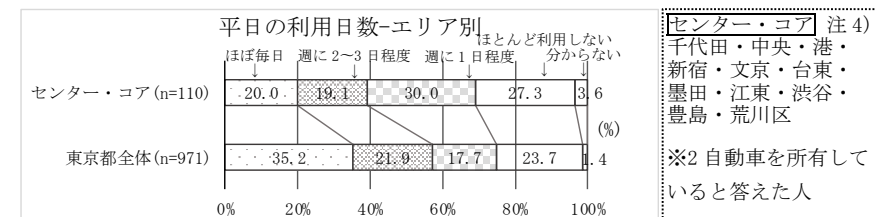
	日本	三重県	南伊勢町
保有台数	61,584,939台	1,161,653台	4,253台
世帯数	5,9071,519帯	802,803帯	5,316帯
普及台数	1.043台	1.447台	1.25台

※1 自家用乗用車:タクシーなど事業用を除く乗用車。

図表II-3 自動車の保有台数都世帯当たりの普及台数⁹⁾¹⁰⁾



図表II-4 神津佐区内出身地別 自動車に乗る頻度



図表II-5 都心部の平日の自動車利用日数-エリア別 東京都生活文化局 平成31年世論調査報告書より作成¹¹⁾

	A南伊勢町役場対象のアンケート				B神津佐区対象のアンケート			
	居住地		勤務地		居住地		勤務地	
南伊勢町	○		○		○		○	
南伊勢町外	○		○		○		○	
	合計	回答者割合(n=14)	回答者割合(n=24)	合計	回答者割合(n=9)	回答者割合(n=11)	合計	回答者割合(n=6)
1. 考えられない	10	71.4%	41.7%	7	77.8%	63.6%	8	33.3%
2. 生活できない	9	64.3%	37.5%	3	33.3%	27.3%	8	33.3%
3. 生活に支障が出る	5	35.7%	20.8%	1	11.1%	9.1%	13	53.3%
4. 車を持っていないため変わらない	0	0.0%	0.0%	0	0.0%	0.0%	4	16.7%
5. 多少の不便を受け入れ生活できる	0	0.0%	0.0%	0	0.0%	0.0%	4	16.7%
6. 生活できる	0	0.0%	0.0%	0	0.0%	0.0%	2	8.3%
7. その他	0	0.0%	0.0%	0	0.0%	0.0%	0	0.0%
合計	24	171.4%	100.0%	11	122.2%	100.0%	34	166.7%

図表III-1 居住地、出身地別 自動車を持たない生活どのように考えるか

	インタビュー項目	生活できる	備考
自動車を無くしたときに実現できる生活	生活圏が自転車等で行ける範囲にある	○	都市部では実際にできている
	公共交通機関が整っている	○	歩くのが困難な所まで来てくれば
	歩くことが好きであればどこへでも行ける	△	高齢者になれば難しい
	生活圏が近くなくてもネットを利用し買い物をす	×	高齢者には難しい
二酸化炭素を排出する自動車を無くしたときに実現できる生活	生活圏が近くなくても移動販売で買い物をする	×	病院や子供の塾など生活は買い物だけでない
	電池自動車を利用する(電気は自然エネルギー発電)	○	電気の設備が全て整っていれば
自家用車を持たない際に実践できる生活	カーシェアリングやレンタカーを利用する	×	すぐに借りられる環境が整えばいいが、子供が病気になる時にすぐに借りられないと不便

図表III-2 自動車を無くした時に実現できる生活インタビュー結果

4) 国土交通省 2040年、道路の景色が変わる～人々の幸せにつながる道路～ <https://www.mlit.go.jp/road/vision/pdf/01.pdf>
5) 小林卓弥, 大島裕明, 小山聡, 田中克巳(2007) レビューの生活圏の特定に基づくCGM評判情報評価, 社団法人情報処理学会 研究報告 2007-DBS-143(36) 2007/7/3
6) 平井直樹(2021) 過疎地域における交通サービス(地方版MaaS)の現状 -EV車や地域通貨を利用した事例- 現代ビジネス研究所紀要(6), 2021-03-31 昭和女子大学現代ビジネス研究所
7) 橋本成仁, 堀裕典(2021) 自家用車の非所有者に着目したライドシェア導入の自家用車保有者意識に与える影響分析, 公益社団法人日本都市計画学会 都市計画論文集 vol.56 no.3, 2021年3月
8) 北村清州, 若井亮太, 及川 潤, 和泉範之, 岡英紀, 河上翔太, 笹圭樹, 岩永和大, 茂木渉, 毛利雄一(2018), データから読み解く自動車の使われ方の変化 ~全国道路・街路交通情勢調査自動車起終点調査の分析から~, IBS Annual Report 研究活動報告 2018 (13-20)
9) 一般財団法人 自動車車検登録情報協会 2021/8/31 <https://www.airia.or.jp/publish/statistics/mycar.html>
10) 三重県ホームページ 2021/3/31 <https://www.pref.mie.lg.jp/DATABOX/23419002458.htm>
11) 東京都ホームページ「ゼロエミッション東京の実現に向けた自動車利用に関する世論調査2019/3/27」 https://www.metro.tokyo.lg.jp/tosei/hodohappyo/press/2019/03/27/documents/01_02.pdf